

山形教区報

立教182年

7月号

第136号

発行 天理教山形教務支庁 〒994-0027 天童市桜町11番1号

TEL 023-656-8420 FAX 023-656-8425

編集 広報部 E-mail y_kohobu@yahoo.co.jp

天理教婦人会創立110周年 会員決起の集い 開催



講師 深谷光恵先生



感話者の2人

便宜を図る上から、
婦人会本部より要
約筆記者が派遣さ
れる。

教区管内では、7月7日に米沢会場、9月1日には山形会場でも集いが開催され、山形会場では聴覚障害者の方の

られ、一層の実動を誓い合った。
き、その後、婦人会員2名が感話を行った。また、ビデオ「さあ楽しみの道へ」では、全国各地で信仰実践に努める婦人会員の様子が上映され、最後に、全員でおつとめがつとめ

に導かれて」が上映され、おつさしづによって創設された
婦人会の目指すところ、またその歴史などが紹介された。
続いて、婦人会本部講師・深谷光恵先生よりご講話を頂

開会の挨拶に続いて、ビデオ「陽気ぐらしへの道 教祖
に導かれて」が上映され、おつさしづによって創設された
婦人会の目指すところ、またその歴史などが紹介された。
続いて、婦人会本部講師・深谷光恵先生よりご講話を頂

立教183年に創立110周年の節目の年を迎える婦人会。5月
から9月にかけて、国内外の各地で「創立110周年会員決起
の集い」が開催され、実(まこと)のようほくに育つこと
を目標に、創立110周年記念総会へ向けて「一人が二人の会
員をご守護頂きましょう」との呼び掛けの下、にをいがけ
おたすけの実動に励んでいる。
山形教区婦人会(森井喜代枝主任)では6月30日、鶴岡
分教会(松本真会長)を会場に同集いが開催され、71名の
婦人会員が参集。参拝場は参加者で埋め尽くされ、臨時に
畳を敷いた廊下にも人が溢れた。

災害救援ひのきしん隊



訓練現場の寒風山をバックに記念撮影

災害救援ひのきしん隊では、5月29日から31日にかけて、秋田県男鹿市の「なまはげオートキャンプ場」を宿营地として、「東北・北海道ブロック訓練」を実施した。

同訓練はブロック管内各教区の持ち回りで開催されているが、7年前に実施した前回は、東日本大震災の直後ということもあり、震災復興支援を進める上から、ブロック訓練に代えて「宮城県復興支援活動」として、10日間にわたり様々な支援活動を行った。

通常のブロック訓練として実施された今回は、ブロック管内の7教区隊と本部隊から、3日間で延べ653人の隊員が参加。山形教区隊（横山理隊長）からも11名の隊員が参加した。ここ数年にわたり自然災害が頻発する中、身近に起こり得る災害有事に備えて、隊員達は規律訓練や機材を用いての作業に真剣に取り組み、また、訓練を通じて各



東北・北海道ブロック訓練



教区隊間の連携強化にも努めた。

初日の結隊式では、表統領中田善亮先生が激励の挨拶に立ち、続いて、金田勝年衆議院議員（秋田 2 区選出）、菅原広二男鹿市長が挨拶し、謝辞を述べた。

今回の訓練では、同市内の「男鹿国定公園」などに 4 か所の作業現場が設けられ、山形教区隊は他教区隊と共に、公園内の「寒風山」の麓の広場で除草作業を行い、10 万 7 千 m² 余りに及ぶ面積の下草刈りを行い、併せて 854 本の雑木を伐採した。この他にも、男鹿半島先端の「入道崎」では、プラスチック片などの漂着ゴミの回収、分別作業が行われ、2t トラッ



ク 11 台分のゴミを回収、運搬した。こうした真心を尽くした活動振りに対し、地元自治体などからは大きな感謝の声が寄せられた。

他方、

期間中には秋田教区婦人会の方々から、隊員の食事のお世話取りを頂いたが、各教区隊が現場へ出勤する際には、宿営地の出入り口付近に並んで、励ましの声を掛け、手を振って見送って頂くなどの印象的な一幕もあり、山形教区隊の隊員からは「心からなるお世話取りに喜ばせて頂き、また大変勇まらせて頂いた」と振り返る声も聞かれた。



結隊式にて本部長より挨拶



青年会陽気ぐらし PRプロジェクト 「親孝行、夫婦仲良く」 を広めよう

山形教区青年会では 6 月 9 日、鶴岡市湯野浜海水浴場で開催された「コスモアーソンシャス アクト クリーンキャンペーン in 鶴岡」に参加しました。このイベントは、毎年コスモ石油とエフエム山形が共催し、海岸清掃などを行っています。

これまでも、「親孝行、夫婦仲良く、陽気ぐらし」の T シャツを着て、さくらんぼ種飛ばし大会などに参加しましたが、更にも多くの方に PR 出来るようにと、400 名程が集まるこのイベントに参加しました。

当日は、爽やかな陽気のもと、午前中は海岸での清掃活動を行いました。配布されたゴミ袋を手に、燃えるゴミ、燃えないゴミを分けながら集めて回り、最後に全員が 2 列となり、バケツリレー方式で集積所に運びました。広い砂浜に様々なゴミが落ちており、海開きを前にして、海岸をきれいにしながら、気持ちの良い汗を流すことが出来ました。また、他の参加者の方々には、T シャツの背中にプリントされた文字を通して「親孝行、夫婦仲良く」を伝えられたのではないかと思います。

清掃活動後は、加茂水族館の見学とクイズラリーを楽しみました。参加者は、青年会員 6 名、女子青年 3 名、少年会員 13 名、その他 9 名の計 31 名でした。家族での参加も多く、楽しい一日となりました。

報告者 松本真 青年会委員長

☆ひのきしん活動にお礼文☆

去る 5 月 19 日に実施された全教一斉ひのきしんデー「北村山公立病院会場」（東根市・中央支部）に対して、同病院医事情報課長名のお礼文が届けられた。文書では「職員はもとより病院にお越しになる方々（患者さんやご家族）の心もさぞかし和むのではないかと考えております」として、長年にわたるひのきしん活動への感謝の意が綴られている。

教務支庁日記

- 5 月
- 2 日 主事会 教区例会 婦人会例会 災救隊会議
 - 6 日 中央支部例会 同神名流し・路傍講演
 - 13 日 学生担当委員会 W & T 下見
 - 19 日 山形楽奏会議 青年会例会
中央支部ハートクリーン
女子青年例会
 - 26 日 災救隊東北ブロック訓練準備
 - 28 日 災救隊東北ブロック訓練 31 日
 - 29 日 災救隊東北ブロック訓練 31 日
- 6 月
- 2 日 主事会 教区例会 地方委員会 婦人会例会
 - 6 日 中央支部例会 同神名流し・路傍講演
 - 9 日 青年会陽気ぐらし PR プロジェクト
 - 23 日 中央支部ハートクリーン
 - 30 日 少年会会議